

富医ニュース

No.608 令和4年4月1日

一般社団法人 富田林医師会
〒584-0082 富田林市向陽台1丁目3-38
TEL.(0721)29-1210 FAX.(0721)28-0858
E-mail: mail@tondabayashiishikai.jp

新型コロナワクチン集団接種 ご協力のお願い

調 整 日

3月分 4月7日(木)
PM3:00まで

4月分 5月6日(金)
PM3:00まで

4 月 の 予 定

7日(木)・調整日
8日(金)・理事会(20:30～)
18日(月)・訪問看護ステーション
運営委員会
21日(木)・学術講演会
(WEB・座学)
22日(金)・広報調査委員会
26日(火)・広報調査委員会
(校正)

3 月 行 事 ・ 会 合

1日(火)・休日診療委員会
・役員選挙 公示
8日(火)・調整日
9日(水)・学術講演会(WEB)
11日(金)・理事会(20:30～)
15日(火)・役員選挙 告示
16日(水)・病診連携会(PL)
【WEB・座学】
22日(火)・感染症対策委員会
25日(金)・広報調査委員会
29日(火)・休日診療委員会
・広報調査委員会
(校正)

可愛らしい木々の新芽も芽吹きだし、心地よい季節となってまいりました。
さて新型コロナワクチン3回目集団接種事業ですが、4月下旬をめどに、ほ
ぼほぼ終了予定となりました。(個別接種に関しては、富田林病院、PL病院、
金剛病院、柏友クリニック、小川外科にて継続されます。)また小児個別接種
については、小児科専門医療機関にて9月下旬まで接種予定となっております。

現在感染者数の減少、蔓延防止の解除等、比較的小康状態を保って
いますが、予防接種の加速化並びに新薬の誕生とコロナ対策の盾と矛も徐々
に整ってまいりました。この坂道の
先の青空めざし、今後さらなる医
師会の団結力が必要になると思
われます。なお一層のご協力の程
よろしくお願ひいたします。

新型コロナワクチン3回目接種状況

富田林市	54.0%(3/23現在)
太子町	25.2%(3/14現在)
河南町	49.1%(3/23現在)
千早赤阪村	72.0%(3/28現在)

各市町村ホームページより

富田林医師会学術講演会

日 時 2022年4月21日(木) 14:00～15:00

会 場 ハイブリッド形式

- ・富田林医師会 大会議室
- ・WEB

特別講演 座 長 とねクリニック 刀禰 央朗 先生
議 題 「ARNIがもたらす高血圧診療の新潮流」

石切生喜病院 副院長・教育研修センター長
堀尾 武史 先生

現行の高血圧治療ガイドライン(JSH2019)では、一般的な高血圧患者
の降圧目標は130/80mmHg未満であり、これに家庭血圧の管理まで含めると、
目標降圧の達成はまだ十分とは言えない。

ARNI(angiotensin II receptor-nepriylsin inhibitor)は、ANP、BNP
などの分解に関わるネプリライシンを阻害するサクビトリルと、ARBであるバル
サルタンを1:1のモル比で含有する化合物で、我が国では2020年に心不全
治療薬として発売され、昨年9月からは高血圧症にも適応が拡大された。

本講演では、降圧薬としてのARNI(エンレスト)の特徴を概説し、よい適
応となる患者像やその降圧効果を、複数の症例をもとに使用イメージが具
体化できる形で述べたい。本講演を通じて、ARNIが高血圧の診療に新し
い流れをもたらす得る薬剤であることを実感頂きたい。

令和4年3月 定例理事会

日 時 令和3年3月11日(金) 20:30より
場 所 医師会 大会議室

会長代行挨拶

報告事項

- 1) 令和4年の定例総会は5月30日(月曜日)の予定、開催形式は未定
- 2) 次期役員立候補受付状況
- 3) 大阪府がホームページにコロナ診療・検査医療機関を3/14より公表
- 4) レセ誤提出時の国保・社保間での交換処置について
- 5) 令和4年3月の予防接種講習会を中止
(感染症対策委員会)
- 6) 子宮頸癌ワクチンの暫定処置(見込み)について
(感染症対策委員会)
- 7) 3歳児健診の視覚検査に関する体制整備への協力について
- 8) 難聴児の早期発見・早期療養推進のための基本方針について
- 9) 新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的取扱いについて
- 10) 新型コロナウイルス感染症に関する罹患証明書発行について
- 11) 富田林市老人ホーム入所判定委員会への委員→中平先生
- 12) 大阪府医師会臨時代議員会参加の件
- 13) 国民健康保険運営協議会委員→赤松先生、南先生
- 14) 富田林市DV対策連絡会議→福田先生出席
- 15) 大阪府医師協同組合総代について→宮田先生

協議事項

- 1) 入退会の件
- 2) 令和4年度予算(案)
- 3) 令和4年度事業計画(案)
- 4) 次期法人人事

2022年 総会のご案内

記

- 日 時 令和4年5月30日(月) 午後2時
場 所 富田林医師会 大会議室
- 議 案 I 令和3年度事業報告及び2022年度事業計画案承認の件
II 令和3年度医師会決算及び訪問看護事業決算承認の件
III 令和4年度医師会予算案及び訪問看護事業予算案承認の件
IV その他

専門医より一言



「腸内細菌と臓器連関」

近畿大学医学部消化器内科
准教授 渡邊 智裕 先生

我々の腸管には約1000種類・100兆個にも及ぶ腸内細菌が存在している。健全な腸管粘膜においては、腸管常在菌に対する免疫反応は制御されており、腸管常在菌に対する免疫寛容状態が維持されている。腸管常在菌に対する免疫寛容の破綻がクローン病・潰瘍性大腸炎に代表される炎症性腸疾患の発症に繋がることが明らかになっている。16S rRNAを標的とする次世代シーケンズ解析などの腸内細菌解析技術が飛躍的に向上した結果、炎症性腸疾患だけではなく、多発性硬化症・関節リウマチ・糖尿病・脂肪肝・動脈硬化などの腸管外の免疫疾患・代謝性疾患の発症にも腸内細菌に対する免疫反応が関与することが判明した。また、免疫チェックポイント阻害薬の感受性を規定する腸内細菌も明らかになりつつある。このように、腸内細菌に対する免疫反応が炎症性腸疾患だけではなく、様々な腸管外疾患の発症に関与することが明らかになり、そのメカニズムも解明されつつある。最近、我々は腸内細菌に対する免疫反応がI型IFN・IL-33の産生を介して、自己免疫性膵炎・アルコール性膵炎を誘導することを見出した。腸管膵臓臓器連関を腸内細菌に対する免疫反応という視点から自己免疫性膵炎・慢性膵炎を例に紹介した。

訃報

本会会員 杉田勝洋先生が2月2日にご逝去されました。
(享年78歳)ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。

- 会員数(4月1日現在) 178名
A会員 94名 B会員 84名
- 入会 4月1日
汐見 幹夫 A2B(PL病院 内科 消化器内科)
- 退会 なし
- 異動 4月1日
鳥羽 宏和 B→A2B(新田クリニック)

広報調査委員会

委員長	齊藤 謙介	副委員長	森井 秀樹
委員	青山 賢治	天城 完二	今城 幸裕
	植村 匡志	江村 俊也	奥野 敦史
	尾多賀 雅哉	遠山 佳樹	中村 元
	藤岡 洋	山本 善哉	山本 秀文